

サバイディー！（こんにちは）

現在、青年海外協力隊としてラオスで活動中の本校教諭のコウラです。

●○『青年海外協力隊』って、現地では言葉はどうしているの?○●

コウラの場合は、公用語のラオ語（ラオス語）を、派遣前訓練の前に e-Learning（インターネットを利用して動画で自習）、訓練所で約 10,000 時間の学習、ラオスに来てからもラオ語でラオ語を学ぶ現地語学訓練を 3 週間受けました。ラオ語についてはまた今度紹介しましょう！

公用語が英語の場合、訓練所では英語を学び、より活動に結びつきやすい実践的・専門的な授業もあります。公用語が英語でも、活動では現地語が必要な場合もたくさんあるそうで、そういう場合は現地語学訓練で少し学んだり、自分で勉強したりするそうです。



≡イントビュー=コ=ナ=≡

今回は、現在ラオスに1年間の留学中の小出先輩(2014年3月卒業)です！どうぞ！！

Q.日本の所属大学とラオスの留学先を教えてください。

私は東京外国語大学言語文化学部ラオス語専攻に所属し、ラオス国立大学に留学しています。

Q. 留学先ではどんな生活をしていますか？

平日は大学で主にラオスの文化や歴史、言語学について勉強しています。休日はカフェで勉強したり、ラオス人や日本人の友達と遊びに行ったりしています。

屋台のご飯やフルーツを食べることが生活の楽しみです！

Q. ラオスでの生活を通して、考え方方が変わったなと思うことは?

ラオスは東南アジアの中でも最貧国だというイメージがありましたが、実際に暮らしてみて日本とは違う暮らしの豊かさがあると感じたことです。開発とは何かを改めて考え直すきっかけになりました。

Q. 留学に興味がある後輩達へメッセージをお願いします！

留学は勉強だけではなく、日本にいるだけでは触れることのできない世界や、たくさんの人たちと出会うことができます。

とても素敵なお経験になります！ぜひ一歩踏み出して、新しい世界を感じてみてください！



○●『ラオス』ではどんな食べ物を食べているの?●○

主食は米で、うるち米（日本米と似ています）と、もち米を食べます。料理はほとんど辛い（赤唐辛子）です。ラオスと言えば、「ビアラオ（ラオスビール）」がとっても有名！食べ物はシンダート（ラオス風焼肉）、パパイヤサラダ、ラープ（肉と香草の和え物）、カオピヤック（米粉の麺）、カオチーパテー（フランスパンのサンドイッチ）などなど、ご飯は何を食べても美味しいと評判です。メコン川でとれる魚や隣国から輸入した海鮮もよく食べられています。韓国・中華・ベトナム・フランスの各国料理などのお店もあります。南国をイメージする果物が豊富でとても安く手に入ります！



*

*

*

日本でラオス料理・タイ料理を提供しているお店も、少しすがります！気になる人は「ラオス料理」で検索して、おうちの人と一緒に行ってみてね！

～他国の協力隊アレコレ～

今回の質問は…「任国で過ごしていて、慣れたなあと思うことは？」

入浴を水浴びで済ますこと（東ティモール・作業法士）

赤の他人からの馴れ馴れしいまでの絡み（ジンバブエ・PCインストラクター）

そこらへんのカッターで肉を切って食べる。そこらへんのベンで粉コーヒーをかき混ぜて飲む。（モンゴル・小学校教育）

辛い食べ物（ラオス・コンピュータ技術） 女の人が食後に爪楊枝を隠さず使うこと（ベトナム・作業療法士）

なんで自分の肌の色は黒くないのだろうと疑問に感じ始めたこと（マラウイ・理科教育）

銃を持ったガードマンに慣れる。（フィリピン・障害児者支援）

市場の生臭さ（コウラ）

待ち時間・遅れも含めて、自分の目的地到着時刻がズバリ読めるようになった事（フィリピン・食品加工）

果物に塩と唐辛子をつけて食べること。（ベトナム・番組制作）

これって何～？と思った単語はぜひ調べてみてください。次号へつづく！